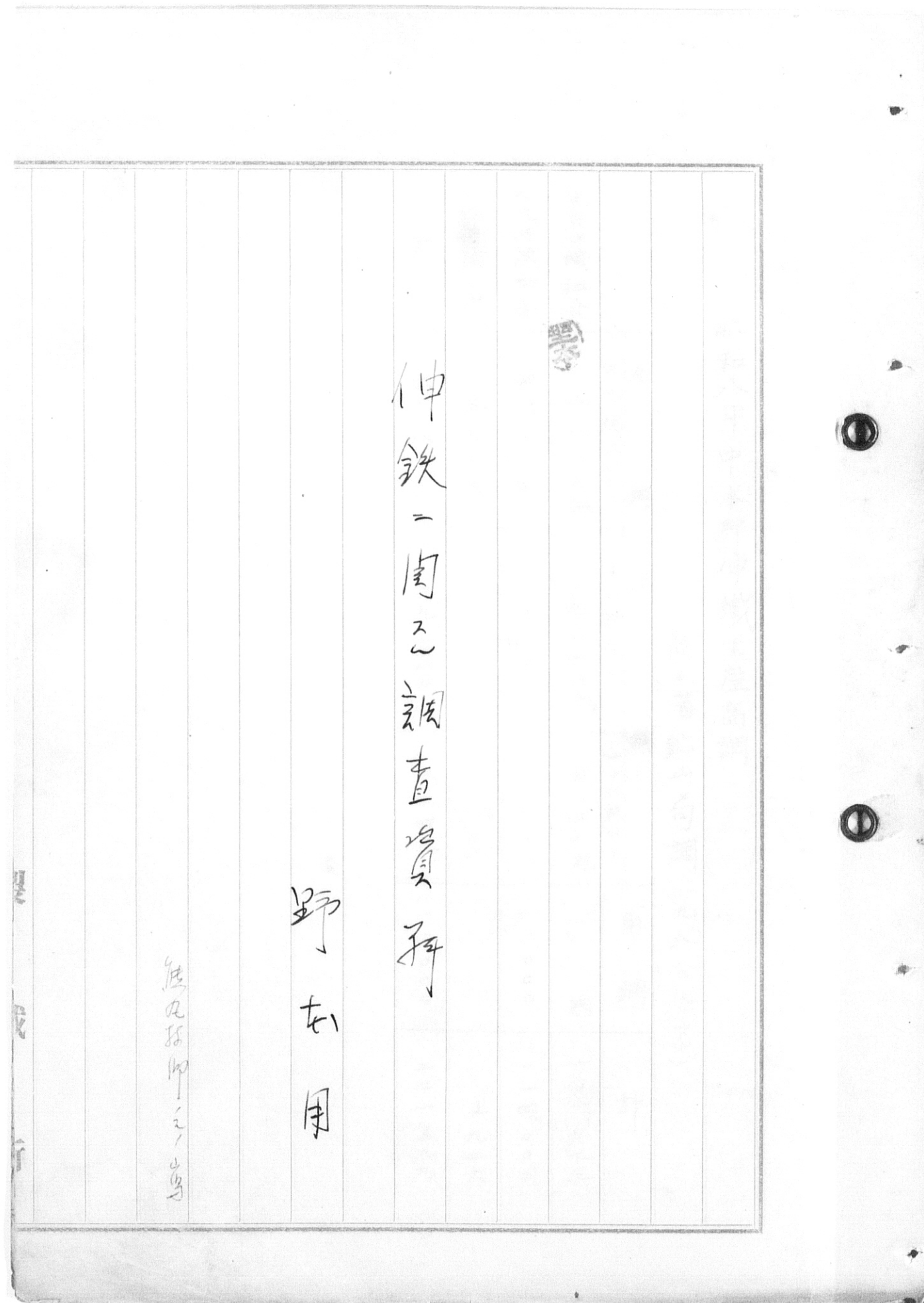


地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。



伸鉄一箇の調査費

野村

徳島県師範学校

昭和八年中本邦伸鐵生産高調

商工省鉦山局調(九八三三三)

	丸		平		角	計
	三 八 耗 以 下	鋼	五 〇 耗 以 下	鋼		
東京伸鐵組合	一八八八六	尺	七九六四四	尺	一〇一六七三	尺
大阪伸鐵組合	四二〇〇〇	尺	六〇〇〇〇	尺	一一四〇〇〇	尺
八幡伸鐵工場	五九二六	尺		尺	五九二六	尺
計	六六八一	尺	一三九六四四	尺	一二〇〇〇	尺

金 月

大阪伸鐵組合員製造高(咫)

(九一八一) 日 商工省 田子島 校師 (ユリ)

大阪伸鐵組合員製造高（咫）

（九一八一—二八日 商工省 田子島 校師 ヨリ）

丸鋼	平鋼		形鋼	計
	（三八耗以下）	（五〇耗以下） （五〇耗一〇〇耗）		
昭和年（一月—三月）	四二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	三、五〇〇
				一二七、五〇〇

棒鋼 形鋼 計

一月	二月	三月	四月	五月	六月	計
五、六五二	八、二五一	八、九七七	九、一五一	八、三四五	六、三四二	四六、七一八
一八八	二七六	二九五	三〇五	二八三	一一二	一四、五九
五、八四〇	八、五二七	九、二七二	九、四五六	八、六二八	六、四五四	四八、一七七

昭和九年（一月—六月）

大阪ニ於ての伸鉄工場（八年九月末日現在）		全生産能力数量（噸）	内統制品生産数量（噸）	昭和九年四月大阪伸鉄工業組合 現行事業ノ概況
石川伸鉄合名會社	一、八〇〇	一、二〇〇		ヨリ拔萃
坂口商店伸鉄部	一、二〇〇	九〇〇		
関西製鉄株式會社	一、一〇〇	ナシ		
豊國鋼材合資會社	八五〇	八五〇		
高石製鉄工場	八五〇	八五〇		
泉尾伸鉄合名會社	五五〇	五五〇		
大阪鋼業株式會社	五〇〇	二一九		
中井商店伸鉄部	五〇〇	五〇〇		
木津川鋼材合資會社	四七〇	四七〇		
関西伸鉄會社	四五〇	四五〇		
豊島鋼材合資會社	四〇〇	四〇〇		
浪速伸鉄會社	三〇〇	三〇〇		
赤井製鋼會社	三〇〇	三〇〇		
摂津鋼業合資會社	三〇〇	三〇〇		
近藤伸鉄工場	二五〇	二五〇		
日、本鋼業會社	二三〇	二三〇		
龜井伸鉄會社	二二〇	二二〇		
市岡伸鉄會社	二二〇	二二〇		
菱田伸鉄會社	一八〇	ナシ		
安治伸鉄會社	一八〇	一八〇		
津守伸鉄會社	一四〇	一四〇		
合計	二、二四〇	八、七七九		

東京伸鐵業者懇談會（昭和八年九月十五日）
當業者

東京伸鐵株式會社	（齊孫四郎）
青柳シヤリング工場	（青柳虎三）
東京鋼作所	（杉山庄作）
石原製鋼所	（石原利貞）
日東製鋼所	（越田岩吉）
菊屋商店	（茂居龍平）
内外製鋼所	（伊原鐵雄）
以上七名出席	
東京鋼鐵合資會社	
宮製鋼所	
城東製鋼所	
荒川製鋼所	

一、鋼材聯合會（昭和七年七月八日）

大阪ニ於ケル伸鐵工場

一、遞信省管船局（昭和七年四月）

輸入解体船、課税問題並本邦船舶、素質改善問題

集錄所

大阪伸鐵組合員製造高 (9-2-18日. 商工省田子島技師37)

大阪伸鐵組合員製造高 (9-8-18日 南口有田子島校中)				
品名	単位	平		計
		丸鋼 (30以上)	形鋼 (30以上)	
昭和八年 (1月-12月)	延	42,000	60,000	102,000
昭和九年 (1月-6月)	延	5,652	1,880	7,532
計	延	47,652	61,880	109,532

仲鐵^ニ販賣高（関東鋼材販賣組合ヨリ）

大阪 東京

昭和六年 六五〇〇〇 二五四一三

七年 九八九〇〇 二七四〇〇

八年 一二〇一四〇 三〇一一三

東西仲鐵工業組合ヨリ昭和九年八月上旬商工省へ提出セルモノ

集録所

東京伸鐵工業組合ニ就テ

(関東鋼材販賣組合)

昭和九年七月拾七日

- 一 主たる統制目的 生産調節、共同販賣及材料共同購入ノ協定
- 一 事務所 日本橋区江戸橋二丁目 武蔵地森岡商店四階
- 一 出資金 貳万参千円(一五五百円也四十六口)内拂込四分ノ一
- 一 組合員名及出資金内譯

組合員名		出資口数
東京シヤリング	丸	九
内外製鋼所	丸	九
青柳シヤリング	丸	九
菊屋商店	七	七
石原製鋼所	六	六
荒川製鋼所	式	式
東京製作所	式	式

七
社
計

四六

風 雨 集

東京新聞社

關東國府煥黃縣合

一、組合員名及能力

每月

經由問座

東京シヤリニグ

一一〇〇 肥

入丸

内外製鋼所

九
〇
〇
、

芝
牛

青柳 シヤリシグ

九〇〇〇

菊屋商店

7
9
9
7

森岡

石原製鋼所

六〇〇

荒川製鋼所

6011

東京製作所

一五〇

七
士
計

四
五
五
〇

葡考

一) 大本生座高壹百匹ヲ出資一五トス

(二) 大仁生片石

宮製作所
二五〇 肥
(サツシユヲ主トシテ製作ノ為「ハー」
「アングル」)

東京鋼鐵製作所 二五〇吨
 日東製作所 三〇〇〃
 城東製鋼所 三〇〇〃

四社計

一、一〇〇〃

一、現在、生産豫定左記ノ如シ 明細別表ノ通り

丸鋼 六耗一七・五耗 約三〇〇／五〇〇 吨

九耗 約一〇〇 吨

十一耗一十二耗 約五〇〇〃

計 約二〇五〇〃

角鋼 六耗一十九耗 約四八〇〃

平鋼 厚 $\frac{1}{8}$ 吋 約五八〇〃

$\frac{1}{4}$ 吋 約五二〇〃

$\frac{3}{8}$ 吋 約三五〇〃

計 約一四五〇〃

總計

約三九八〇 吨

一、其他ノ製作比率

丸鋼 四割／四割五分

平鋼 三割／三割五分

角鋼 一割／一割五分

型物 一割(現在、製作セズ)

一、統制方法及建値

大体月二回(十五日及廿五日)建値賣出数量発表

組合ニ於テ右発表後三、四日以内ニ注文ヲ締切リ引受数量ヲ決定ス

此数量ヲ其製品製造組合員ニ豫メ定メラレタル比率ニヨリテ割當引

受セシム、締切後ノ引合ニ対シテハ時價ニヨリ販賣ス、最初ノ

発表値敗ト時價トノ差額ハ組合員ノ手取トシセニヨリ拔賣ヲ

防止ス

一、細目引 目方ニ於テ約五歩見當ヲ標準トス

一 現在ノ建値及エキストラ

七月渡 先方倉庫渡 九耗及拾貳耗 九参円

カッテシク
エキストラ 定尺ラ一ニ呎一五呎一八呎廿呎ノ四寸法トシ

エキストラヲ附セス

其他ハ二五呎迄 金貳円替
ノ(エキストラヲ附ス)

二五呎ノ三〇呎迄金参円替

一 材料及生産費

主ナル材料ハ古鐵及解船材ノ二・三貫ノ材料ニシテ概當リ約六五円
加工費約廿五円計九〇円ナリ

(註) 三貫目一・二・ニ五キロノ材料ニテ九割ハ長七四呎十二割ハ
長四一呎ノ伸鐵トナル

一 アウトサイダー對策

工業組合法第八條ニ依リテアウトサイダーヲ束縛セントシテ奔走中ナ
ルモ伸鐵業ノ定義上種々困難ヲ生ジ居リ其加入問題ハ未ダ進展ナシ

(註) 工業組合法第八條

營業上ノ弊害ヲ豫防シ又ハ矯正スル爲メ特ニ必要ト認ムルト
キハ行政官廳ハ工業組合ノ組合員又ハ組合ノ組合員ニ
非スレテ其組合ノ地区内ニ於テ組合員タル資格ヲ有ス
ルモノニ對シ其組合ノ定ル取締又ハ制限ニ従フベキコト
ヲ命スルコトヲ得

(註) 定款上ニ於ケル伸鐵業ノ定義

古鐵若ハ屑鐵又ハ他ヨリ供給ヲ受ケタル粗鋼ヲ材料
トシ加熱並ニ作業ニ依ル條鋼製造業者

一 大阪伸鐵工業組合トノ關係

日本伸鐵工業組合結成ニ奔走中ニテ成立ノ見込アリトノ由
尚値敗其他ニキ打合セハスレドモ未ダ両者同一建値ニハ至ラス
一 諸經費

金 月

0000 0543

[Faint handwritten notes at the bottom of the page]

0000 0544

[illegible]